KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

CLX-30
CLX-35

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。

取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

JVC KENWOOD Corporation

Made for iPod iPhone

© B60-5873-18/02 (J) LVT2281-001C

もくじ

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いがしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き電池を取り出す。そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり､加工したり､無理に曲げたり､ねじったり､引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災･感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また､電源プラグの刃に触れると､感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

電源プラグは交流 100 ボルトに接続する

この機器は、交流 100 ボルト専用です｡指定の電源電圧以外で使用すると､火災･感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災･感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災･感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災･感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災･感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落としたら電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。ケースやコードの被服が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災･感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器を開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

・極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。
・直射日光の下や火のそばなど、熱くなる場所に電池を置かない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

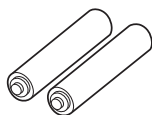
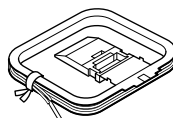
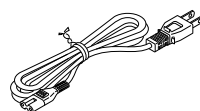
定期的に内部の点検、清掃をする

３年に１度程度を目安に、機器内部の点検､清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

付属品について

付属品

リモコン
（RC-F0324：1個）

リモコン用乾電池
（単３形：２本）

AMループアンテナ
（1個）

電源コード
（1本）

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の上面と背面は15cm以上、左右は5cm以上のスペースを空けてください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

保管とお手入れ

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

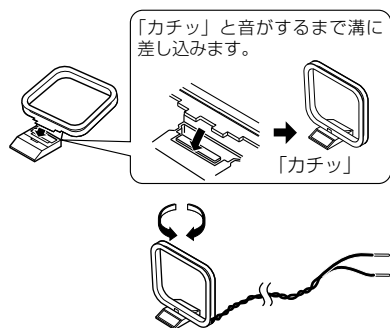
ステレオ音のエチケット

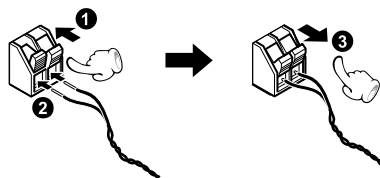
楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

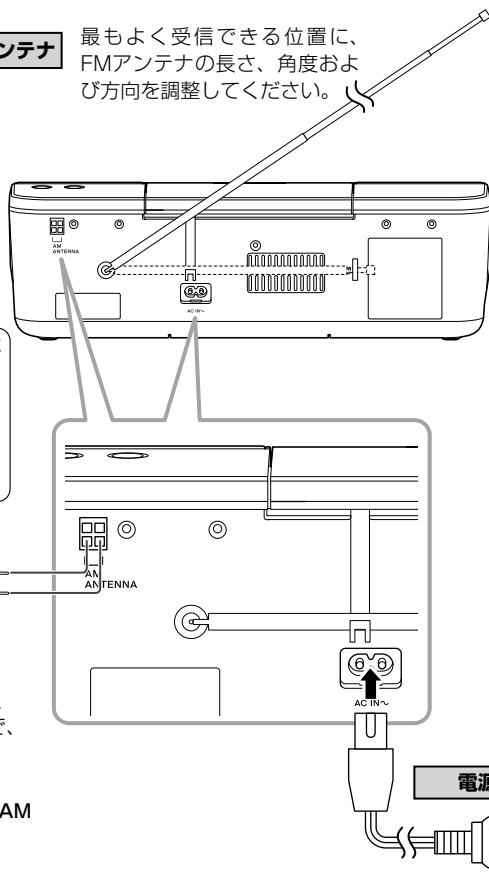
接続のしかた

基本接続

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

- **アンテナコードの取り付けかた**
  AMアンテナコードを下記のようにして、[AM ANTENNA]端子に接続します。

・アンテナ線の先端にビニールがついているときは、ねじりながら抜き取ります。

交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ

コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

⚠注意

・この製品には、付属の電源コードをご使用ください。
・付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

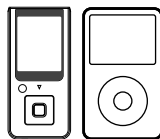
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

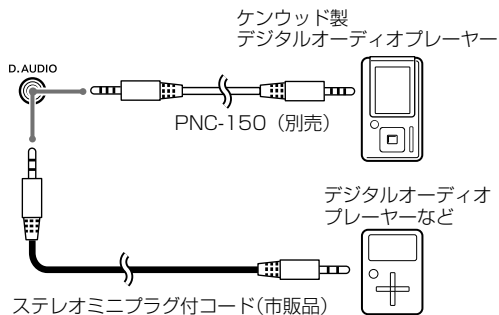
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

USB (USB機器接続端子)

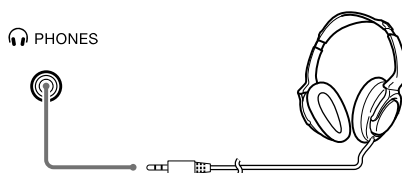
USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー、またはiPod/iPhoneを、本体前面部の[USB]端子に接続します。

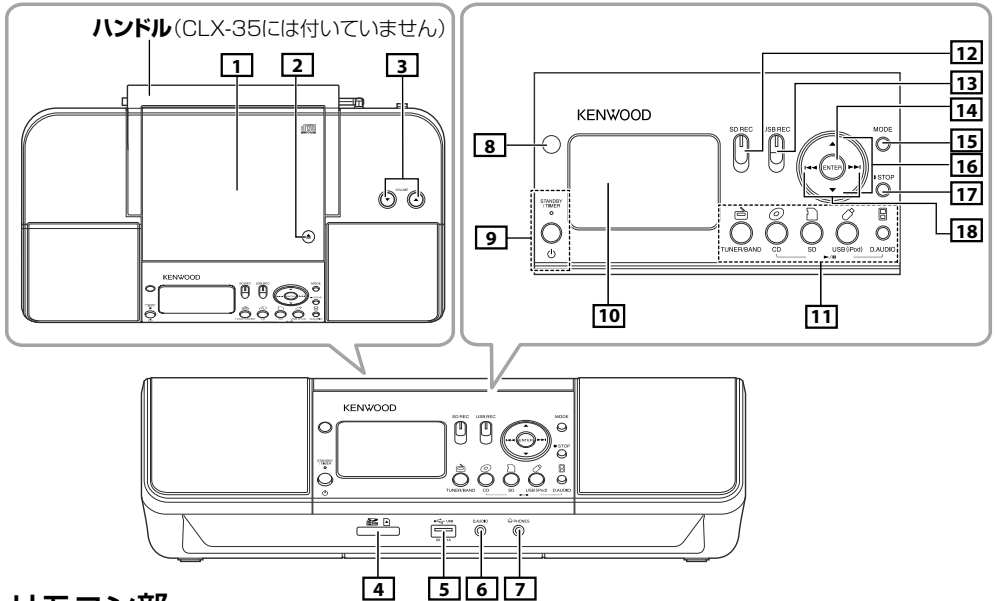
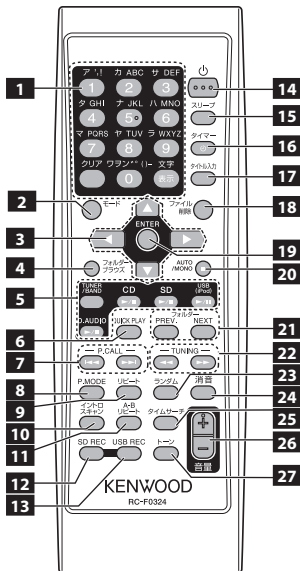
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。
- USBハブなどを介してUSB機器を認識させることはできません。

D.AUDIO (D.AUDIO端子)

デジタルオーディオプレーヤーや外部機器を本体前面部の[D.AUDIO]端子に接続します。

- デジタルオーディオリンク対応プレーヤー（ケンウッド製）を専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると、本機やリモコンを使って操作できます。
- その他の外部機器などは、φ3.5mm ステレオミニプラグ付ケーブル（市販品）を使って接続します。
- お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

PHONES (ヘッドホン端子)

φ3.5mm ステレオミニプラグ付のヘッドホンを本体前面部の[PHONES]端子に接続します。

ヘッドホンを接続すると"🎧"が点灯し、スピーカーから出る音は消音されます。

各部のなまえと働き

本体部

リモコン部

1 **数字（0 − 9）/ カタカナ（ア ー ン）/ アルファベット（A − Z）**

- 曲や放送局を選びます。
- ファイル / フォルダーに名前を入力します。

クリア

- プログラムした曲やプリセットした局の設定を削除します。
- 名前の入力中、文字や記号の候補を取消します。

表示 / 文字

- ディスプレイの表示内容を切り替えます。
- 入力する文字の種類を変更します。

2 **15** **モード**

MODE

- 本機の各種設定をします。

3 **▲/▼/◀/▶（マルチコントロール）**

- 各種設定を選びます。

4 **フォルダーブラウズ**

- フォルダー / ファイル選択モードに切り替えます。

5 **11** **TUNER/BAND/CD ►/II/SD ►/II/ USB(iPod) ►/II/D.AUDIO ►/II**

- 音源を切り替えます。TUNER/BAND は、受信するバンド（FM/AM）を切り替えます。
- 再生 / 一時停止をします。

6 **QUICK PLAY**
- 直前にタイマー録音したファイルを再生します。

7 **18** **P.CALL ⏮/⏭**
⏮/⏭
- 曲をスキップします。
- ラジオを聞いているときは、放送局を選びます。
- 本機の各種設定をします。

8 **P.MODE**
- フォルダー再生モード / プログラムモードに切り替えます。

9 **リピート**
- 曲を繰り返し再生します。

10 **イントロスキャン**
- 各曲の出だし部分を 10 秒ずつ再生します。

11 **A-B リピート**
- 曲内で選択した部分を繰り返し再生します。

12 **12** **SD REC**
- SD カードに録音します。

13 **13** **USB REC**
- USB 機器に録音します。

14 **9** **⏻（電源）**
- 電源の ON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。

STANDBY/TIMER インジケーター
- 赤色：スタンバイ状態
- 橙色：タイマースタンバイ状態

15 **スリープ**
- スリープタイマーを設定します。

16 **タイマー**
- 設定したプログラムタイマーを ON/OFF します。

17 **タイトル入力**
- ファイル / フォルダーの名前を編集します。

18 **ファイル削除**
- ファイルを削除します。

19 **14** **ENTER**
- 項目を決定します。

20 **■（停止）AUTO/MONO**
- 再生、録音を停止します。
- 放送局のオート選局 / マニュアル選局を切り替えます。
- FM ラジオのステレオ / モノラルを切り替えます。

21 **フォルダー PREV./NEXT**
- フォルダー単位でスキップ戻し / 送りを行います。

22 **TUNING ◀◀/▶▶**
- 曲を早送り、早戻しします。
- ラジオを聞いているときは、選局周波数のアップ / ダウンを行います。

23 **ランダム**
- 曲を順不同に再生します。

24 **消音**
- 一時的に消音します。

25 **タイムサーチ**
- 曲の冒頭からの時間を指定して再生します。

26 **3** **音量 ＋ / −**
VOLUME ▲/▼
- 音量を調整します。**＋ /▲** を押すと音量が上がり、**− /▼** を押すと音量が下がります。

27 **トーン**
- 音質を調整します。

1 **CD ドア**

2 **⏏**
- CD ドアを開けます。

4 **SD カードスロット**

5 **USB（USB 機器接続端子）**

6 **D.AUDIO（D.AUDIO 端子）**

7 **PHONES（ヘッドホン端子）**
- ステレオミニプラグ付のヘッドホンを接続します。

8 **リモコン受光部**

10 **表示部（ディスプレイ）**
- 曜日、時間、音源、ファイル情報、放送局名、本機の状態などを表示します。

16 **▲/▼**
- 曲を早送り、早戻しします。
- ラジオを聞いているときは、選局周波数のアップ / ダウンを行います。
- 本機の各種設定をします。

17 **■ STOP**
- 再生、録音を停止します。

- 操作には時間制限があるものがあります。設定が終わる前に自動的に取り消されたときは、もう一度操作してください。
- 本文中のディスプレイ表示は実際の表示と異なる場合もあります。

各部のなまえと働き

表示部（ディスプレイ）

接続機器や、再生しているオーディオファイルの種類、再生モードなどの情報を表示します。

- ：ディスクあり
- ：SDカード挿入
- ：USB機器接続
- iPod：iPod/iPhone接続
- /：スピーカー /ヘッドホン
- /：消音
- MP3/WMA/AAC/WAV：オーディオファイルの種類
- ：フォルダー名
- ：ファイル名
- ：曲名（タグ情報）
- ：アルバム名（タグ情報）
- ：アーティスト名（タグ情報）
- ：フォルダー再生モード
- PGM：プログラム再生モード
- INTRO：イントロスキャンモード
- ：ランダム再生モード
- ：リピート再生モード
- ：ランダムリピート再生モード
- A-B：A-Bリピート
- AUTO：オート選局
- ：放送受信
- ST.：ステレオ受信
- DIGITAL/ANALOG：デジタル録音/アナログ録音
- HQ/SQ：録音フォーマット
- HIGH：録音スピード
- TITLE IN：タイトル入力モード
- ：設定モード
- TONE：音質調整モード
- A.P.S.：省エネモード
- ：スリープタイマー
- ：プログラムタイマー

スタンバイ状態について

本機の[STANDBY/TIMER]インジケーターが点灯中は、マイコン動作のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、[TUNER/BAND]/[CD ►/II]/[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]/[D.AUDIO ►/II]ボタンを押すと本機の電源がONになります。音源がセットされていれば、自動的に再生が始まります。

リジューム機能について

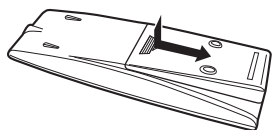
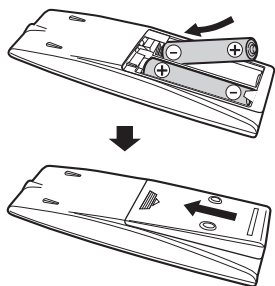
CD、SD、USBなどの曲（オーディオファイル）を再生中に停止し、再度[CD ►/II]/[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]を押すと再生していた曲の先頭から再開します。リジューム機能が働いている状態で停止しているとき、ディスプレイの"►"が点滅します。停止中にもう一度[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押すと、リジューム機能は解除されます。

本機の誤作動について

正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は本機をリセットしてください。（53ページ）

リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

1. 電池カバーを外します。

2. 付属の単３形乾電池を入れ、電池カバーを閉めます。
   ※電池の極性に注意して入れてください。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 端子（バネ）を変形または破損させないように注意してください。

電池について

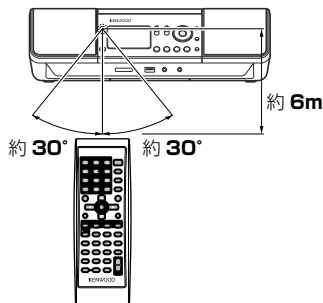
電池を交換するときは、２本とも新しい乾電池と交換してください。

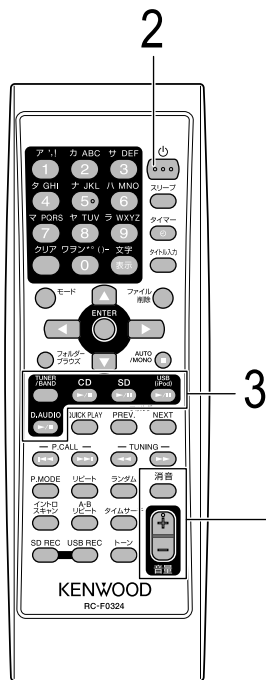
⚠ 注意

- 電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

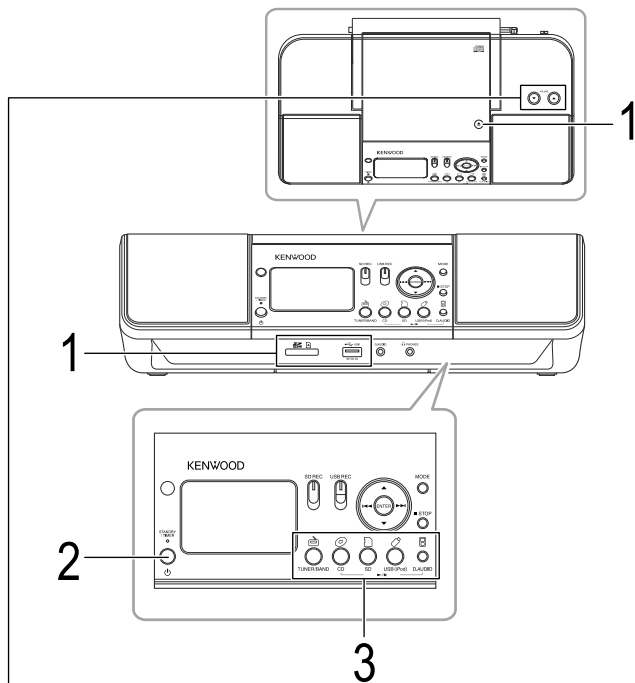
操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの[⏻]**電源**を押すと、電源がONになります。

電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた

リモコンによる操作です。
この表記がある場合は、リモコンのボタンを押してください。

本体による操作です。
この表記がある場合は、本体のボタンを押してください。

両方が表記されている場合は、リモコン、本体のどちらでも操作ができます。

音量を調整する

[音量]/[VOLUME]で調整する。

0～40（Max）の間で調整できます。

一時的に消音する

[消音]を押す。

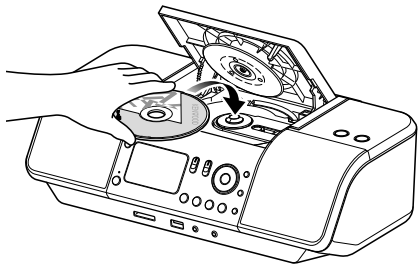
"🔇"（ヘッドホン使用時は"🎧"）が点滅します。

■消音を解除するには ...

もう一度[消音]を押す。（もとの音量に戻ります）または音量の調整をする。

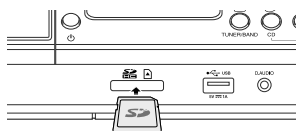
1 再生する音源をセットする

ディスクを入れる場合

[⏏]を押し、CDドアを開けます。レーベル面を上にして、ディスクをCDトレイに置き、CDドアを閉めます。

■ディスクを取り出すには ...

[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押しディスクの回転が停止するまで1～2秒待ってから、[⏏]を押しCDドアを開け、ディスクを取り出します。

SDを入れる場合

SDカードをSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

SD カードのラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。

■SDカードを取り出すには...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてから指を添えたままSDカードを押し、ポップアップしたら引き抜きます。

USB機器を挿し込む場合

挿し込む方向に注意して確実に挿し込んでください。(10ページ)

■USB機器を取り外すには ...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

iPod/iPhoneを接続する場合

iPod/iPhone用USBケーブルを使ってiPod/iPhoneを本機に接続します。（10ページ）

■iPod/iPhoneを取り外すには ...

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSBケーブルを取り外します。

2 電源をONにする（OFFにする）

[⏻]**電源**を押す。

・電源がONのときに[⏻]**電源**を押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

3 音源を切り替え、再生する

各音源の再生 / 一時停止ボタンを押す。

[CD ►/❚❚]/[SD ►/❚❚]/[USB(iPod) ►/❚❚]を押す。

音源を認識中は"**Reading**"と表示されます。認識が終わると音源によって"◎"（CD）、"▭"（SD）、"▭"（USB）、"iPod"（iPod）が点灯し自動的に再生します。

■停止するには ...

再生中に[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押すと停止します。

・本機で使用するSDカード/USB機器は、FAT(FAT16)またはFAT32でフォーマットされている必要があります。
本機でフォーマットはできませんので、パソコンでフォーマットするか、FAT (FAT16)またはFAT32でフォーマット済みのSDカード/USB機器を購入してご使用ください。

CD/SD/USBを再生する

CDやオーディオファイルを再生します。

- 再生できるオーディオファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(42ページ)

曲を聞く

1 音源を切り替え、再生する

[CD ►/II]/[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]を押して"CD"、"SD"、または"USB"に切り替える。

音源の認識が終わると自動的に再生します。

各音源のセットのしかたは「基本的な使いかた」をご覧ください。(16ページ)

CDのときは最初の曲から再生します。

オーディオファイルのときは、フォルダーやオーディオファイルを検索して最小ファイルナンバーの曲から再生を開始します。

- 複数のフォルダーやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダーやオーディオファイルの再生順について」をご覧ください。(43ページ)

- 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。
- 再生中はSDカード/USB機器を取り外さないでください。故障の原因となります。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。

音楽を聞く

フォルダーごとに再生する（オーディオファイルのみ）

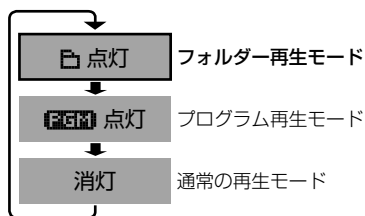
フォルダーごとに再生するモードに設定します。

- 音源をCD、SD、またはUSBに切り替え、停止しておきます。

1 "🗀"（フォルダー再生モード）を選ぶ

[P.MODE]を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

2 フォルダーを選ぶ

[フォルダー PREV./NEXT]を押す。

フォルダー番号とフォルダー名が表示され、選んだフォルダー内の曲を再生します。

フォルダー内のすべて曲の再生が終わると停止します。

■最初のフォルダーを再生するには ...

手順２でフォルダーを選ばずに、各音源の再生 / 一時停止ボタンを押す。

[CD ►/II]/[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]を押す。

■フォルダー再生モードを解除するには ...

再生を停止し、[P.MODE]を押して通常の再生モードを選びます。

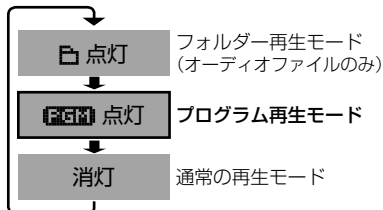
プログラムモードで再生する

曲を好きな順番で聞くことができます。

- 音源をCD、SD、またはUSBに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

[P.MODE]を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

2 選曲する

CDの場合

[◀/▶]または**[数字]**ボタンで曲を選び、[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で曲を選び、[ENTER]を押す。

オーディオファイルの場合

❶ フォルダーを選ぶ

[◀/▶]または**[数字]**ボタンでフォルダーを選び、[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]でフォルダーを選び、[ENTER]を押す。

❷ 曲を選ぶ

[◀/▶]または**[数字]**ボタンで曲を選び、[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で曲を選び、[ENTER]を押す。

"Program Set"と表示されます。

- 30曲まで続けて選曲できます。

[数字]ボタンでの選曲方法：
　7曲目→[7]を押す。
　12曲目→[1]、[2]を押す。
　103曲目→[1]、[0]、[3]を押す。
入力を間違えたときは、[ENTER]を押す前に**[クリア]**を押して、再度入力しなおします。

3 再生する

各音源の再生 / 一時停止ボタンを押す。

[CD ▶/II]/[SD ▶/II]/[USB(iPod) ▶/II]を押す。

■プログラムしたファイルを取り消すには ...

再生を停止してリモコンの**[クリア]**を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1つずつ取り消されます。

■後から曲を追加するには ...

再生を停止してから手順2を操作します。

■プログラムモードを解除するには ...

再生を停止し、[P.MODE]を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

- 音源を取り外したり電源をOFFすると、設定したプログラムは消去されます。
- 30曲目をプログラムすると"Program Full"と表示され、それ以上はプログラムできません。

CD/SD/USBを再生する

再生中 / 停止中のボタン操作一覧

<table>
<tr><th>動 作</th><th>操 作</th></tr>
<tr><td>ディスプレイの表示切り替え</td><td>再生中/一時停止中に[表示/文字]を押す。
押すたびに表示情報が切り替わります。

CD の場合
再生中の曲の経過時間 ➡ 再生中の曲の残り時間 ➡ CD 全体の経過時間 ➡ CD 全体の残り時間
オーディオファイルの場合
再生中の曲の経過時間 ➡ ファイル名 ➡ フォルダー名 ➡ タグ情報 曲名 ➡ タグ情報 アルバム名 ➡ タグ情報 アーティスト名</td></tr>
<tr><td>停止</td><td>再生中に[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押す。</td></tr>
<tr><td>一時停止</td><td>再生中に[CD ►/II]/[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]を押す。
再度押すと解除します。</td></tr>
<tr><td>選曲</td><td>[数字]ボタンで選曲する。</td></tr>
<tr><td>フォルダーの選択
（オーディオファイルのみ）</td><td>[フォルダー PREV./NEXT]を押す。</td></tr>
<tr><td>フォルダーブラウズ
（フォルダーからファイルを選んで聞く）
（オーディオファイルのみ）</td><td>停止中に、
❶ [フォルダーブラウズ]を押す。
フォルダー /ファイル選択モードになります。
❷ [▲/▼/◀/▶]を押しフォルダー（🗀）/ファイル（🗋）を選ぶ。
[◀/▶]で階層を移動し、[▲/▼]で階層内のフォルダー /ファイルを選びます。

例：
CD002 — 隣のフォルダーまたはファイル
🗀 CD001 — 現在のフォルダーまたはファイル

❸ 聞きたいファイルで[ENTER]を押すと再生します。</td></tr>
<tr><td>早送り/早戻り</td><td>再生中に[TUNING ►►]/[TUNING ◄◄]を押す。通常再生するときは[►/II]を押す。

再生中に[▲]/[▼]を押す。通常再生するときは[►/II]を押す。

オーディオファイルの場合は、押すたびに速度が x5、x10、x30 と切り替わります。</td></tr>
</table>

動 作	操 作
曲のスキップ	[P.CALL ►►I]/[►►I]を押す。
曲の頭出し	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を1回押す。
前の曲へ戻る	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を連続して2回以上押す。
イントロスキャン	**[イントロスキャン]**を押す。 各曲の出だし部分を10秒ずつ再生します。イントロスキャン中に**[ENTER]**を押すと、その曲から通常再生します。
タイムサーチ	**[タイムサーチ]**を押す。 曲の冒頭からの時間を指定して再生します。 **時間の指定方法：**分、秒を一ケタずつ **[数字] ボタン**で入力するか、**[▲/▼]** で数字を選び **[ENTER]** を押す。 •[モード]/[MODE]を押し、[◄/►]/[I◄◄/►►I]で"Time Search"を選び[ENTER]を押してもタイムサーチできます。
ランダム再生 （順不同に聞く）	**[ランダム]**を押す。 押すたびに切り替わります。 **点灯**：ランダム再生します。 ➡ **消灯**：ランダム再生を解除します。
リピート再生 （繰り返し聞く）	**[リピート]**を押す。 押すたびに切り替わります。 **1 点灯**：1曲だけリピート再生します。 ➡ **点灯**：全曲リピート再生します。 ➡ **消灯**：リピート再生を解除します。
A-Bリピート （指定した区間を繰り返し聞く）	再生中に、 ❶ 繰り返しを始めるところで**[A-Bリピート]**を押す。 "A-"が点灯します。 ❷ 繰り返しを終わらせるところで**[A-Bリピート]**を押す。 "A-B"が点灯し、A-Bリピート再生します。 A-B リピート中に、**[A-B リピート]** を押すと解除します。

- フォルダー再生モード中に**[リピート]**を押すと" "と" "が点灯し、フォルダー内の曲をリピート再生します。
- プログラム再生中に**[リピート]**を押すと"PGM"と" "が点灯し、選んだ曲をリピート再生します。
- ランダム再生中に**[リピート]**を押すと" "が点灯し、ランダム再生がひと通り終わってから、新たに違う順番でランダム再生が始まります。
- AACファイルでは、「タイムサーチ」と「A-Bリピート」はできません。

iPod/iPhoneを再生する

iPodやiPhoneを接続して、曲を再生します。

- 接続できるiPod/iPhoneについては「iPod/iPhoneの取り扱い」をご覧ください。(46ページ)

曲を聞く

本機やリモコンでiPod/iPhoneを操作します。

1 音源を"USB"(iPod)に切り替え、再生する

[USB(iPod) ►/II]を押して"USB"に切り替える。

iPod/iPhoneを接続中に音源をUSBにすると"iPod"が点灯し、iPod/iPhoneを再生します。

iPod/iPhoneの接続のしかたは「他の機器（市販品）との接続」をご覧ください。(10ページ)

- 本機の電源がONのときは、iPod/iPhoneの充電をすることができます。
- 本機へ接続している間は、iPod/iPhoneで設定した音量は無効になります。
- 再生中はiPod/iPhoneを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 本機へ接続している間は、iPod/iPhoneのヘッドホンを抜き差ししないでください。音声が出なくなったり、誤動作の原因になる場合があります。
- iPod/iPhoneのモデルによっては、操作できない機能があります。

再生中 / 停止中のボタン操作一覧

動作	操作
ディスプレイの表示切り替え	再生中/一時停止中に[表示/文字]を押す。押すたびに表示情報が切り替わります。 ファイル番号・時間 ➡ タグ情報曲名 ➡ タグ情報アルバム名 ➡ タグ情報アーティスト名
メニュー画面の呼び出し/選択	[◄]を押す。メニュー画面を呼び出します。[▲/▼]を押して項目を選択して[ENTER]で決定します。
一時停止	再生中に[USB(iPod) ►/II]を押す。再度押すと解除します。
早送り/早戻り	再生中に[P.CALL ►►I]/[►►I]/[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を押し続ける。
曲のスキップ	[P.CALL ►►I]/[►►I]を押す。
前の曲へ戻る	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を連続して2回以上押す。
曲の頭出し	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を1回押す。
ランダム再生（順不同に聞く）	[ランダム]を押す。押すたびにiPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。
リピート再生（繰り返し聞く）	[リピート]を押す。押すたびにiPod/iPhoneの再生モードが切り替わります。

デジタルオーディオプレーヤーを再生する

本機に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生します。

- [D.AUDIO]端子に別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）で接続すると、本機やリモコンで機器を操作できます。（11ページ）
- 接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーについては「D.AUDIOの取り扱い」をご覧ください。（47ページ）

曲を聞く

1 デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

2 音源をD.AUDIOに切り替え、再生する

[D.AUDIO ►/II]を押して"D.AUDIO"に切り替える。

自動的に再生します。

- 専用ケーブルPNC-150以外で接続した場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。
- 専用ケーブルPNC-150で接続した場合は、デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。
- 再生中はデジタルオーディオプレーヤーを取り外さないでください。故障の原因となります。

再生中 / 停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
停止	再生中に[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押す。
一時停止	再生中に[D.AUDIO ►/II]を押す。 再度押すと解除します。
フォルダーのスキップ	[フォルダー PREV. / NEXT]を押す。
早送り/早戻り	再生中に[P.CALL ►►I]/[►►I]/[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を押し続ける。
ファイルのスキップ	[P.CALL ►►I]/[►►I]を押す。
前のファイルへ戻る	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を連続して2回以上押す。
ファイルの頭出し	[P.CALL I◄◄]/[I◄◄]を1回押す。

- 接続した機器によっては操作できないものもあります。

外部機器を再生する

本機に接続した外部機器を再生します。

- 外部機器を[D.AUDIO]端子に接続します。（11ページ）
- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

曲を聞く

1 音源をD.AUDIOに切り替える

[D.AUDIO ►/II]を押して"D.AUDIO"に切り替える。

2 接続した外部機器を再生する

入力レベルを調整する

[D.AUDIO]端子に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーや外部機器の入力レベルを調整できます。同じ音量でも、D.AUDIOの音が他の音源より大きく、または小さく感じた場合に調整してください。

1 音源をD.AUDIOに切り替える

[D.AUDIO ►/II]を押して"D.AUDIO"に切り替える。

2 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

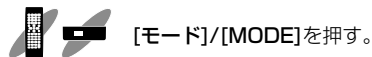
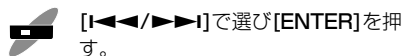
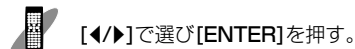
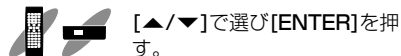
"➡"が点灯します。

3 "Input Level"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◄◄/►►I]で選び[ENTER]を押す。

4 入力レベルを設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

−6、−3、0、+3、+6の5段階に調整できます。

"➡"が消灯します。

音楽を聞く

ラジオ放送を聞く

FM/AMの放送局を選んで聞きます。

ラジオ放送を聞く

1 FMまたはAMに切り替える

[TUNER/BAND]を押す。

押すたびに受信バンドが切り替わります。

2 放送局を選ぶ

メモリーした放送局から選ぶ場合(プリセットコール)

メモリーした放送局をプリセット番号（P01～P40）から選びます。

- プリセットについては、「放送局を自動でメモリーさせる（エリアバンド）」、「放送局を手動でメモリーする（マニュアルプリセット）」をご覧ください。（26、27ページ）

[P.CALL ⏮/⏭]/[⏮/⏭]を押す。

- ボタンを押し続けるとプリセット番号が連続して変わります。
- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字]ボタンで選ぶ。

プリセット番号P27の場合 →[2]、[7]を押す。

メモリーしていない放送局から選ぶ場合(オート選局/マニュアル選局)

❶ 選局方法を決める。

[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押す。

押すたびに受信モードが切り替わります。

AUTO 点灯	**オート選局** 電波状況の良いときに自動受信します。
⬇ ⬆	
AUTO 消灯	**マニュアル選局** 電波状況の悪いときに手動で周波数を変えて受信します。

❷ 放送局を選ぶ。

[TUNING ◀◀/▶▶]を押す。

[▲/▼]を押す。

■オート選局の場合

キーを押すたびに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■マニュアル選局の場合

受信するまで、または受信したい周波数になるまでキーを押してください。

- 選局中は音が出ません。
- オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。
- 放送を受信すると"Ÿ"が点灯します。ステレオ受信すると"ST."が点灯します。

ラジオ放送を聞く

ステレオ/モノラルを切り替える

FMステレオ放送の受信状態の良くないときにモノラルにすると、ノイズが軽減されて聞きやすくなります。

1 ステレオ/モノラルを切り替える

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

押すたびに切り替わります。

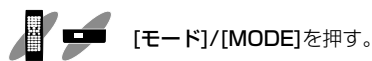
表示	状態
AUTO 点灯	ステレオで受信します。
AUTO 消灯	モノラルで受信します。

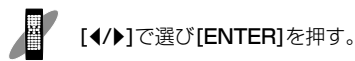
放送局を自動でメモリーさせる（エリアバンド）

エリアを指定することで、指定したエリアの放送局をプリセットチャンネルにメモリーして、放送局名を表示することができます。

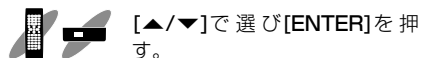
- 表示できる放送局は「放送局リスト」をご覧ください。（48ページ）
- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

2 "エリアバンド"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

3 "エリア"（お住まいの地域）を選ぶ

[▲/▼]で 選 び[ENTER]を 押す。

"Complete"と表示され放送局がメモリーされます。

自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

- お住まいのエリアが変わった場合はもう一度エリアを選び直してください。

放送局を手動でメモリーする（マニュアルプリセット）

受信中のFM/AM放送局をメモリーします。すでに放送局をメモリーしてあるプリセット番号に重ねてメモリーすると、新しい設定に変更されます。

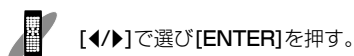
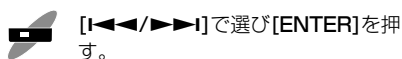
- FM、AM合わせて40局分の放送局をメモリーできます。

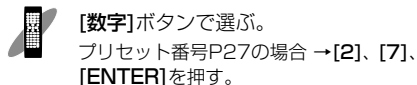
1 メモリーしたい放送局を選ぶ
（25ページ）

2 受信した放送局を確定する

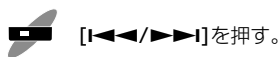
[ENTER]を押す。

"MEM."が点滅します。

3 メモリーしたいプリセット番号をP01～P40（FMまたはAM）から選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字]ボタンで選ぶ。
プリセット番号P27の場合 →[2]、[7]、[ENTER]を押す。

4 放送局表示名を選ぶ

[◀/▶]を押す。

[I◀◀/▶▶I]を押す。

- 選べる放送局表示名は「放送局リスト」をご覧ください。（48ページ）

5 放送局をメモリーする

[ENTER]を押す。

"MEM."が消灯します。

- 続けてメモリーしたいときは、手順1 ～ 5を繰り返します。

- プリセットしても電波状況が悪い場合は受信できません。

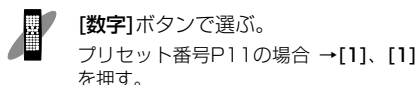
メモリーした放送局を削除する

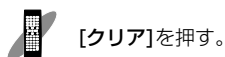
メモリーされている放送局のプリセット番号を指定して削除します。

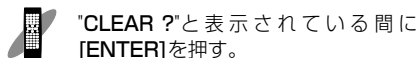
- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 削除したい放送局をプリセット番号から選ぶ

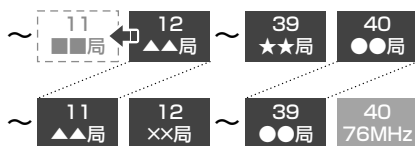
[P.CALL I◀◀/▶▶I]/[I◀◀/▶▶I]を押す。

- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字]ボタンで選ぶ。
プリセット番号P11の場合 →[1]、[1]を押す。

2 削除したいプリセット番号を再確認する

[クリア]を押す。

3 削除する

"CLEAR ?"と表示されている間に[ENTER]を押す。

"Cleared"と表示され、選択した放送局は削除されます。削除したプリセットチャンネル以降は前に詰められます。

例：プリセット11の■■局を消した場合

空いてしまうプリセット番号には自動的にFM76MHzが記憶されます。

- プリセット番号P40を選んだ場合は"Can't Clear"と表示され、消去できません。

音楽を聞く

CDの曲を録音する

録音の前に

- 録音先のSDカードまたはUSB機器をセットしてください。(17ページ)
- 録音速度、録音形式、録音フォーマットの設定をしてください。(34、35ページ)
- CD以外のディスク(MP3などのオーディオファイルが記録されたディスク)は録音できません。(43ページ)
- SDカードまたはUSB機器のいずれかへの録音となります。同時録音はできません。

全曲を録音する

CDの全曲を録音します。

1 音源をCDに切り替える

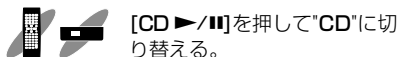
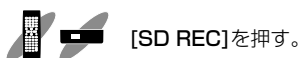
[CD ►/II]を押して"CD"に切り替える。

2 再生を停止する

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

3 録音する

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"↳ SD ●"が点灯し、録音が始まります。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"↳ ● "が点灯し、録音が始まります。

全曲録音が終了すると停止します。

■録音を途中でやめるには ...

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

1曲を録音する

1曲だけ選んで録音します。

1 音源をCDに切り替える

[CD ►/II]を押して"CD"に切り替える。

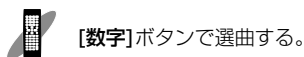
2 録音したい曲を選んで再生する

[P.CALL I◄◄/►►I]/
[I◄◄/►►I]で選曲する。

[**数字**]ボタンで選曲する。

3 録音する

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"↳ SD ●"が点灯し、選んだ曲を録音します。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"↳ ● "が点灯し、選んだ曲を録音します。

録音が終了するとCDは一時停止します。

■録音を途中でやめるには ...

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

好きな曲を好きな順番で録音する

プログラムモードで好きな順で録音します。

1 音源をCDに切り替える

[CD ►/II]を押して"CD"に切り替える。

2 プログラムモードで録音する曲を選ぶ

- 「プログラムモードで再生する」（19ページ）の手順で選曲します。

3 録音する

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

" "が点灯し、選んだ曲を録音します。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

" "が点灯し、選んだ曲を録音します。
すべての録音が終了すると停止します。

■録音を途中でやめるには ...

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

ラジオ放送または外部機器を録音する

録音の前に

- あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。(37ページ)
  本機は、録音ファイル名に日時を使用します。時計が設定されていない場合は、同名ファイルを避けるために99ファイルまでしか録音できません。
- 録音先のSDカードまたはUSB機器をセットしてください。(17ページ)
- 録音フォーマット、録音ファイルの自動分割の設定をしてください。(35ページ)
- SDカードまたはUSB機器のいずれかへの録音となります。同時録音はできません。

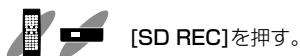
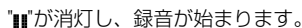
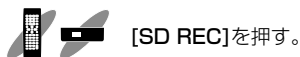
ラジオ放送を録音する

1 音源をFMまたはAMに切り替える

[TUNER/BAND]を押す。

2 放送局を選ぶ (25ページ)

3 録音待機にする

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"⮑ SD ● ▮▮"が点灯します。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"⮑ ● ▮▮"が点灯します。

4 録音を始めたいところで録音する

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"▮▮"が消灯し、録音が始まります。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"▮▮"が消灯し、録音が始まります。

5 録音を停止する

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

■録音を一時停止するには ...

[SD REC]または[USB REC]を押す。

録音を再開するには ...

[SD REC]または[USB REC]を押す。

- アナログ等速録音になります。
- タイマー録音中は、一時停止できません。
- 録音を一時停止したところまでで 1 つの録音ファイルができます。再開すると別の録音ファイルになります。
- 録音ファイルが2GBに達した場合、自動的に録音が停止します。

外部機器を録音する

[D.AUDIO]端子に接続した、デジタルオーディオプレーヤーや外部機器の曲を録音します。

- デジタルオーディオプレーヤーや外部機器をセットしてください。（11ページ）
- 入力レベルを調整してください。（24ページ）

1 音源をD.AUDIOに切り替える

[D.AUDIO ►/II]を押す。

2 録音待機にする

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"SD ● II"が点灯します。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"● II"が点灯します。

3 再生する

デジタルオーディオプレーヤーや外部機器を再生する。

4 録音を始めたいところで録音する

SDに録音する場合

[SD REC]を押す。

"II"が消灯し、録音が始まります。

USBに録音する場合

[USB REC]を押す。

"II"が消灯し、録音が始まります。

5 録音を停止する

[■ AUTO/MONO]/
[■ STOP]を押す。

■録音を一時停止するには ...

[SD REC]または[USB REC]を押す。

録音を再開するには ...

[SD REC]または[USB REC]を押す。

- アナログ等速録音になります。
- タイマー録音中は、一時停止できません。
- 録音を一時停止したところまでで１つの録音ファイルができます。再開すると別の録音ファイルになります。
- 録音ファイルが2GBに達した場合、自動的に録音が停止します

編集する

SD/USBのオーディオファイルを削除する

- 一度削除した削除したファイルはもとに戻すことはできません。

1 削除したいファイルを再生、または再生一時停止にする

2 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

3 "Delete File"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

4 削除したいファイルを再確認する

"Delete File"、"Cancel"と表示され、再生中の場合は一時停止します。
"Cancel"表示中に[ENTER]を押すと、ファイル削除はキャンセルされます。

5 "OK"を選ぶ

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

"Deleting"と表示され、ファイル削除が始まります。削除されると"Complete"と表示されます。

- 手順1のあとにリモコンの[ファイル削除]を押しても手順4になります。

タイトル入力する

本機で録音したファイルと、CDから録音したフォルダーの名前を16文字以内で入力、変更できます。（44ページ）

1 タイトル入力する音源に切り替える

[SD ►/II]/[USB(iPod) ►/II]を押して"SD"または"USB"に切り替える。

2 再生を停止する

[■ AUTO/MONO]/[■ STOP]を押す。

3 タイトル入力モードにする

[タイトル入力]を押す。

"Title Input"と表示されます。

4 タイトル入力するフォルダー（）/ファイル（）を選ぶ

[▲/▼/◀/▶]を押す。

[◀/▶]で階層を移動し、[▲/▼]で階層内のフォルダー /ファイルを選びます。

5 タイトル入力する

[ENTER]を押す。

6 文字の種類を選ぶ

[表示/文字]を押す。

押すごとに英字（Aa）→数字（12）→カタカナ（ｱｧ）の順に切り替わります。
文字の種類、入力できる文字については、「タイトル入力文字一覧表」をご覧ください。

7 文字入力する

数字（0－9）/カタカナ（アーン）/アルファベット（A－Z）を押す。

例：文字種"Aa"で**数字[2]**を押すと、以下のように切り替わります。

A→B→C→a→b→c

8 入力位置を移動する

[◀/▶]を押す。

9 手順6～8を繰り返し入力する

10 タイトルを確定する

[ENTER]を押す。

"Complete"と表示されタイトルが保存されます。

■文字を消すには ...

[クリア]を押す。

■途中でやめるには ...

[タイトル入力]または**[■ AUTO/MONO]**を押す。

- すでにあるファイル/フォルダーと同じ名前で確定しようとすると"Same Name"と表示され、確定できません。
- タイトルを変更する場合も同じ手順で上書きしてください。

タイトル入力文字一覧表

数字ボタン ＼ 文字種	Aa	12	ｱｧ
1	',!;_`$	1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	ABCabc	2	ｶｷｸｹｺ
3	DEFdef	3	ｻｼｽｾｿ
4	GHIghi	4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	JKLjkl	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	MNOmno	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	PQRSpqrs	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	TUVtuv	8	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	WXYZwxyz	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0	&()-+=#%@	0	ﾞﾟﾜｦﾝｰ

録音の設定をする

録音速度を設定する（CDのみ）

CDからSD/USBへの録音速度を設定します。

1 音源をCDに切り替える

[CD ►/II]を押して"CD"に切り替える。

2 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

3 "Rec Setup"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

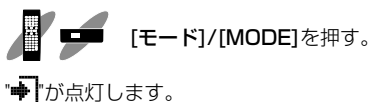
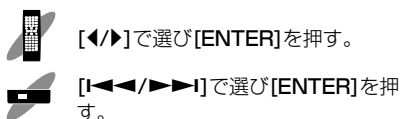
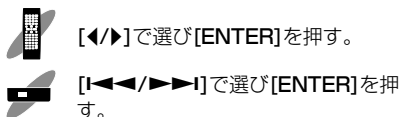
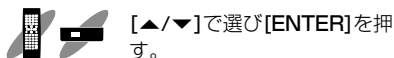
[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

4 "CD Speed"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

5 録音速度を設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

High	2倍速で録音します。
▼▲	
Normal	等速で録音します。

"High"に設定すると、"HIGH"が点灯します。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

・"High"で録音中は、再生音は出ません。

録音形式を設定する（CDのみ）

・CDの録音形式をデジタル録音またはアナログ録音に切り替えることができます。SCMSなどでデジタル録音できないCDを録音するとき、アナログ録音に設定すると録音が可能になります。（45ページ）

1 音源をCDに切り替える

[CD ►/II]を押して"CD"に切り替える。

2 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

3 "Rec Setup"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

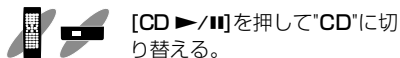
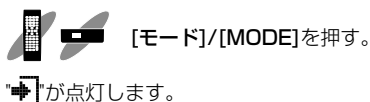
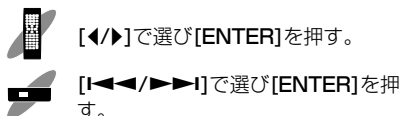
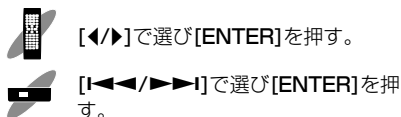
[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

4 "Rec Input"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

5 録音形式を設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

Digital	デジタル録音します。
▼▲	
Analog	アナログ録音します。

"Digital"に設定すると"DIGITAL"が、"Analog"に設定すると"ANALOG"が点灯します。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

・"Analog"に設定すると、等速録音になります。

録音フォーマットを設定する

録音音質を設定します。

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

2 "Rec Setup"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

3 "Rec Format"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

4 録音フォーマットを設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

SQ	標準的な音質で録音します。(ビットレート：128 kbps)
▼▲	
HQ	高音質で録音します。(ビットレート：256 kbps)

"SQ"に設定すると"SQ"が、"HQ"に設定すると"HQ"が点灯します。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

- "HQ"で録音すると、同じ曲を"SQ"で録音するときにくらべて約2倍のファイルサイズになるので、同じ容量のSD/USBに録音できる時間は約半分になります。

録音ファイルの自動分割を設定する（TUNER、D.AUDIOのみ）

- ラジオ放送やD.AUDIOを録音中に、録音ファイルを15分または30分ごとに自動分割できます。

1 音源をFM、AMまたはD.AUDIOに切り替える

[TUNER/BAND]または[D.AUDIO ▶/II]を押す。

2 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

3 "Rec Setup"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

4 "Auto Divide"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

5 設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

30min	30分ごとに自動分割します。
▼▲	
15min	15分ごとに自動分割します。
▼▲	
Off	自動分割しません。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

- 録音中に分割したいところで[ENTER]を押すと、手動分割できます。
- タイマー録音中は、手動分割できません。

本機の設定をする

低音、中音、高音を調整する (Tone)

低音(Bass)、中音(Mid)、高音(Treble)のレベルを調整できます。

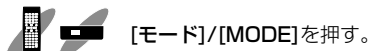
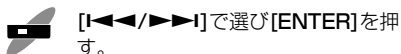
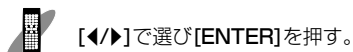
1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

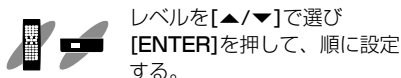
2 "Tone"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

"TONE"が点滅します。

3 レベル調整する

Bass、Mid、Trebleの順に設定します

レベルを[▲/▼]で選び[ENTER]を押して、順に設定する。

Bass	低音域を調整します。
Mid	中音域を調整します。
Treble	高音域を調整します。

それぞれ、−8から+8まで一段階ごとにレベルが調整できます。

Trebleまで調整が終わると一時的に設定を表示します。(例：B:+3 M:−1 T:+2)

"➡"が消灯し、"TONE"が点灯します。

- すべて"0"に設定したときは、"TONE"は点灯しません。

省エネモードを設定する (A.P.S. Set)

A.P.S.とはAUTO POWER SAVE (オートパワーセーブ)の略で、電源がONでCDなどが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

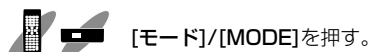
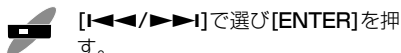
1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

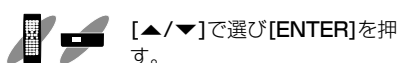
"➡"が点灯します。

2 "A.P.S. Set"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

"A.P.S."が点滅します。

3 省エネモードを設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

A.P.S.　On ⟷ A.P.S.　Off

省エネモードON　省エネモードOFF

設定すると自動的にセットアップモードを終了し"➡"が消灯します。

■A.P.S.がONのときは ...

"A.P.S."が点灯し、本機が以下の条件であるとき動作します。

- 音源にTUNER、D.AUDIOが選択されていて、音量が0または消音でボタン操作がない場合
- 音源にCD、USB、SDが選択されていて、CD、USB機器、SDが停止中でボタン操作がない場合
- 本機にiPod/iPhoneを接続し、音源にUSBが選択され""が表示されていて、音量が0または消音でボタン操作がない場合

A.P.S.が動作すると電源がOFFになる約30秒前から"A.P.S."が点滅します。

- 電源がOFFになると、iPod/iPhoneやUSB機器への給電も止まります。本機で充電する場合は、A.P.S.をOFFにしてください。

もっと使いこなす

時計を設定する（Time Adjust）

本機の時計を設定します。

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

""が点灯します。

2 "Time Adjust"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

3 日時を設定する

年、月、日、時、分の順に設定します

点滅している項目を[▲/▼]で選び[ENTER]を押して、順に設定する。

例：

Time Adjust
2012/Jan/10
9:53

- [◀/▶]で前後の項目に移動できます。

分まで設定すると自動的にセットアップモードを終了し"　"が消灯します。

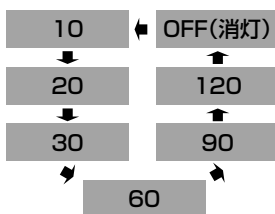
- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度時計を設定してください。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせせることをお勧めします。

スリープタイマーを設定する

音源を聞いている最中や聞く前に、スリープタイマー（10分から最大120分まで）を設定すると、設定時間後に再生を終了して自動的に電源をOFFします。

1 スリープタイマーを設定する

[スリープ]を押す。

押すたびに設定時間が切り替わります。

Sleep 30　スリープタイマーを30分に設定した場合。

スリープタイマーが設定されると"　"が点灯します。

■設定後、スリープタイマーの残り時間を確認するには ...

[スリープ]を1回押す。

例：Sleep 18　タイマーの残り時間を5秒間表示します。

さらに[スリープ]を押すと、スリープタイマーの再設定ができます。

もっと使いこなす

プログラムタイマーを設定する (Timer Set)

プログラム予約によって、指定した時間に自動的に再生したり、録音したりすることができます。

プログラムは5つ設定可能です。

- あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。「時計を設定する（Time Adjust)」をご覧ください。(37ページ)

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

"➡"が点灯します。

2 "Timer Set"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

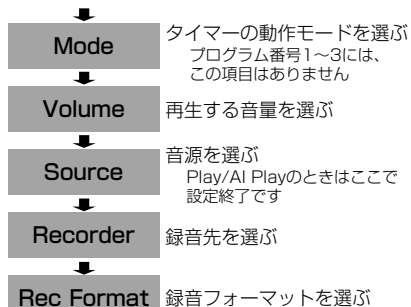
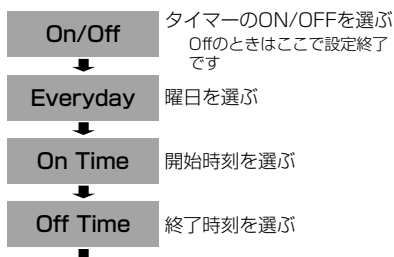
3 プログラム番号(1～5)を選ぶ

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

タイマー再生するときは、プログラム番号は4か5を選んでください。プログラム番号1～3はタイマー録音専用です。

4 プログラム項目を選び決定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

項目	説明
On/Off	タイマーのON/OFFを選ぶ Offのときはここで設定終了です
Everyday	曜日を選ぶ
On Time	開始時刻を選ぶ
Off Time	終了時刻を選ぶ
Mode	タイマーの動作モードを選ぶ プログラム番号1～3には、この項目はありません
Volume	再生する音量を選ぶ
Source	音源を選ぶ Play/AI Playのときはここで設定終了です
Recorder	録音先を選ぶ
Rec Format	録音フォーマットを選ぶ

設定項目に関しては「プログラム項目一覧」をご覧ください。

すべて設定すると"Complete"と表示され、自動的にセットアップモードを終了し、"➡"が消灯します。

プログラムタイマーが設定されると"⏲"とプログラム番号が点灯します。

5 電源をOFFにする

[⏻]電源を押す。

STANDBY/TIMERインジケーターが橙色に点灯します。

■タイマー録音したファイルを再生するには ...

電源をONにして、

[QUICK PLAY]を押す。

直前にタイマー録音したファイルを再生します。

- タイマー動作中はタイマー番号が点滅します。
- タイマー録音の時は、録音開始時間の2分前に電源がONになり、録音一時停止状態になります。録音開始時間の2分以上前に電源をOFFにしてください。
- プログラムタイマーを複数設定する場合は、プログラムどうしの時刻設定の間隔を3分以上空けて設定してください。
- 録音時間が23時間58分以上のタイマー録音は実行されません。

プログラム項目一覧

<table>
<tr><th>プログラム項目</th><th>概要</th><th colspan="2">選択項目</th></tr>
<tr><td>On/Off</td><td>タイマーの実行/解除を切り替える。</td><td colspan="2">On: タイマーを実行する。
Off: タイマーを解除する。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">曜日設定</td><td rowspan="11">曜日を選ぶ。</td><td colspan="2">Everyday（毎日）</td></tr>
<tr><td>Sunday（日曜）</td><td rowspan="7">続けてタイマーが毎週働くか、1回だけ働くかを選ぶ。
❶ [ENTER]を押す。
❷ "Every Week"（毎週）または"Onetime"（1回のみ）を[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。</td></tr>
<tr><td>Monday（月曜）</td></tr>
<tr><td>Tuesday（火曜）</td></tr>
<tr><td>Wednesday（水曜）</td></tr>
<tr><td>Thursday（木曜）</td></tr>
<tr><td>Friday（金曜）</td></tr>
<tr><td>Saturday（土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Mon - Fri（月曜から金曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Tue - Sat（火曜から土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Sat - Sun（土曜、日曜）</td></tr>
<tr><td>On Time</td><td>タイマーの開始時刻を設定する。</td><td colspan="2" rowspan="2">❶ "時"を合わせる。[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。
❷ "分"を合わせる。[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。</td></tr>
<tr><td>Off Time</td><td>タイマーの終了時刻を設定する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Play Mode</td><td rowspan="3">AI PlayのときはVolumeで設定した音量値まで徐々に上がります。</td><td colspan="2">Play: AI Playを解除する。（Volumeで設定した音量で再生します）</td></tr>
<tr><td colspan="2">AI Play: AI Playを実行する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Rec: 録音する。</td></tr>
<tr><td>Volume</td><td>再生時の音量を設定する。</td><td colspan="2">0 ～ 40（Max）の間で設定できます。</td></tr>
<tr><td>Source</td><td colspan="3">•TUNER/CD/USB/SDから、再生する音源を選ぶ。
•TUNER/D.AUDIOから、録音する音源を選ぶ。
TUNERを選択したときは、放送局をプリセット番号から1つ選ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Recorder</td><td rowspan="2">録音先を選ぶ。</td><td colspan="2">USB: USB機器に録音する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">SD: SDカードに録音する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Rec Format</td><td rowspan="2">録音フォーマットを選ぶ。</td><td colspan="2">SQ: MP3 128 kbpsで録音する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">HQ: MP3 256 kbpsで録音する。</td></tr>
</table>

■設定したタイマーを解除（Off）または再設定（On）するときは ...

❶ [⏻ **タイマー**]を押す。

❷ [◀/▶]でプログラム番号を選び[ENTER]を押す。

❸ [▲/▼]で"On"または"- -"（Off）を選び[ENTER]を押す。
別のプログラム番号も解除/再設定するときは、手順❷、❸を繰り返します。

❹ [⏻ **タイマー**]を押す。

• 電源をONにして設定してください。

本機の設定をする

ディスプレイの照明を設定する (Backlight Set)

表示部の照明を設定します。

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

""が点灯します。

2 "Backlight Set"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

3 照明を設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

表示	説明
Backlight On	表示部の照明を点灯します。
▼▲	
Backlight Off	表示部の照明を消灯します。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し""が消灯します。

ディスプレイの表示濃度を調整する (Contrast Set)

表示部の表示濃度を調整します。

1 セットアップモードにする

[モード]/[MODE]を押す。

""が点灯します。

2 "Contrast Set"を選ぶ

[◀/▶]で選び[ENTER]を押す。

[I◀◀/▶▶I]で選び[ENTER]を押す。

3 表示濃度を設定する

[▲/▼]で選び[ENTER]を押す。

1 ▮
▼▲
2 ▮▮
⋮
5 ▮▮▮▮▮

5段階で濃度を調整します。

設定すると自動的にセットアップモードを終了し""が消灯します。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		説　明
USB	USB フラッシュメモリー	• [USB] 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー、iPod/iPhone 以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。 • 使用できる iPod/iPhone については、「iPod/iPhone の取り扱い」をご覧ください。(46 ページ)
	USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	
	iPod/iPhone	
SD	SD/ SDHCカード	• 512MB ～ 32GB の SD/SDHC カードが使用できます。 • miniSD/microSD カードは専用アダプターが必要です。 • マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
	miniSD™ カード	
	micro SD/ SDHCカード	
CD	市販の CD	• コピーコントロール付き CD など、CD の規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 • 書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。 • CD-ROM、CD-R、CD-RW ディスクを記録した機器や記録状態、また使用している CD-ROM、CD-R、CD-RW の種類によっては本機で再生できない場合があります。
	CD-DA のフォーマットで記録した CD-R/CD-RW	
	MP3/WMA/AAC/WAV を記録した CD-ROM/ CD-R/CD-RW	

ディスクに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダーを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルとCD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma, m4a, wav）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a, wav)を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。（42ページ）

知っておいていただきたいこと

再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイルが記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、SD、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

拡張子：.mp3
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：Windows Media Audio 9準拠
拡張子：.wma
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

- Windows Media Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

AACファイル

ファイルフォーマット：MPEG-4 AAC
（iTunes 4.1～10.4で作成されたもの）
拡張子：.m4a
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz

- Appleロスレス・エンコーダで作成されたファイルは、再生できません。

WAVファイル (CD-ROM、CD-R、CD-RWのみ)

拡張子：.wav
量子化ビット数：16 bit
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1
ISO 9660 Level 2
Joliet

SD/USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大フォルダー数：300（SD/USB)、99（CD)
最大ファイル数：3000（SD/USB)、999（CD)

表示できる最大文字数

フォルダー名：64文字
ファイル名：64文字（拡張子含む）
タグ表示(タイトル/アーティスト/アルバム)：
MP3 ID3タグ/WMAコンテンツプロパティ：64文字
(ID3 v1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/ 2.4 対応) (UTF-8非対応)

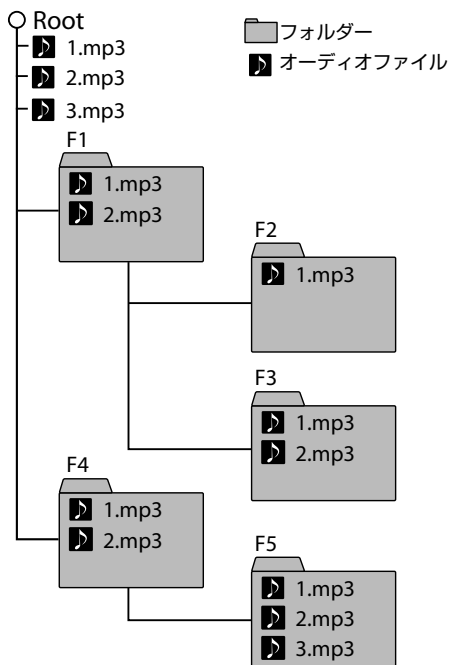
- 本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は正しく表示されないか、または"＊"が表示されます。

その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3，wma，m4a，wav）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a, wav）を付けないでください。

フォルダーやオーディオファイルの再生順について

オーディオファイルは、まず、Root（ルート）にあるものから再生されます。
次の図は、本機がフォルダーやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。
実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトにより異なることがあります。

フォルダー構成例

■再生順

1曲目	1.mp3	8曲目	F3_2.mp3
2曲目	2.mp3	9曲目	F4_1.mp3
3曲目	3.mp3	10曲目	F4_2.mp3
4曲目	F1_1.mp3	11曲目	F5_1.mp3
5曲目	F1_2.mp3	12曲目	F5_2.mp3
6曲目	F2_1.mp3	13曲目	F5_3.mp3
7曲目	F3_1.mp3		

録音できる音源、録音できない音源

音源＼録音先	SD	USB
CD	◎	◎
CD（オーディオファイル）	×	×
SD	×	×
USB	×	×
D.AUDIO	○	○
ラジオ放送	○	○

◎：デジタル録音に対応しています。
○：アナログ録音となり、録音速度も等速に限ります。
×：録音できません。

- SDカードまたはUSB機器のいずれかへの録音となります。同時録音はできません。
- SDカードとUSB機器との間で、ファイルのコピーや移動はできません。

録音ファイル数の制限

本機で扱えるフォルダーと曲ファイルの数

■作成できるフォルダーは最大300です

USB機器またはSDカード内のフォルダー数が300を超えて録音することはできません。

■録音できる曲ファイル数は、収録時間内で最大3000曲までです

USB機器またはSDカードに録音時間が残っている場合でも、3000曲を超えて録音することはできません。

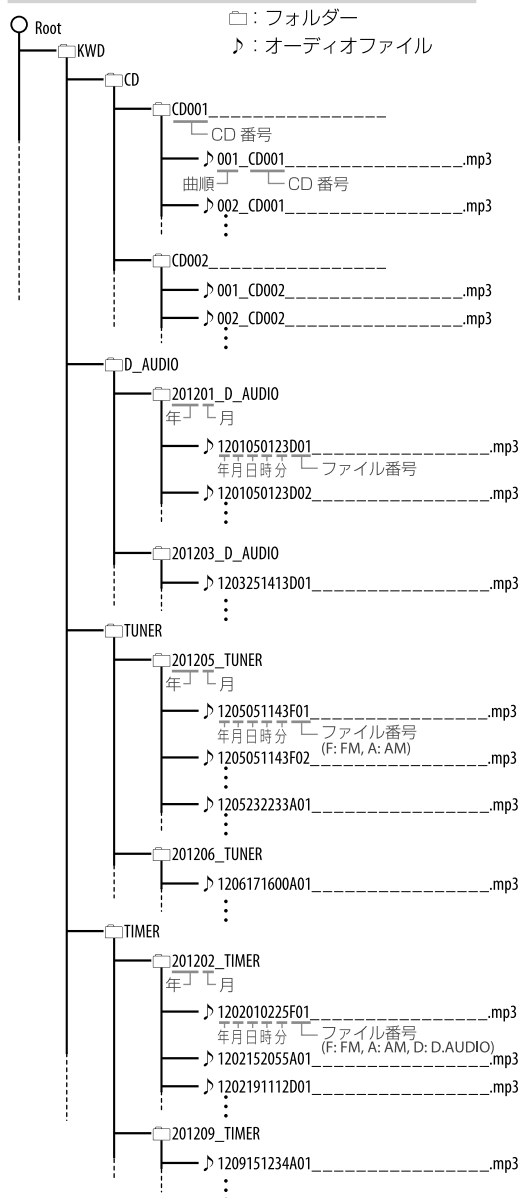
著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

知っておいていただきたいこと

録音したファイルについて

本機で録音するとファイルはすべてフォルダーにまとめられ、KWDフォルダーの下に、録音毎に自動的にフォルダー名とファイル名が付けられます。次の図は、録音したときの例を表したものです。

録音例

🗀：フォルダー
♪：オーディオファイル

■管理フォルダー

- USB機器またはSDカードに初めて録音するときに自動的に"KWD"フォルダーが作成されます。以後録音した曲ファイルや作成されたフォルダーは、KWDフォルダー内で管理されます。
- KWDフォルダーには、録音した音源ごとに"CD"、"D_AUDIO"、"TUNER"フォルダーが作成され、その中で管理されます。
- タイマー録音すると、"TIMER"フォルダーが作成され、その中で管理されます。

■フォルダーに自動的に付けられる名前

- CDから録音したとき：
"CD001"/"CD002"……（録音順にCD番号が付きます）+"________________"
- D.AUDIOから録音したとき：
録音した"年"（4文字）+"月"（2文字）+"_D_AUDIO"
- ラジオ放送を録音したとき：
録音した"年"（4文字）+"月"（2文字）+"_TUNER"
- タイマー録音したとき：
録音した"年"（4文字）+"月"（2文字）+"_TIMER"

■ファイルに自動的に付けられる名前

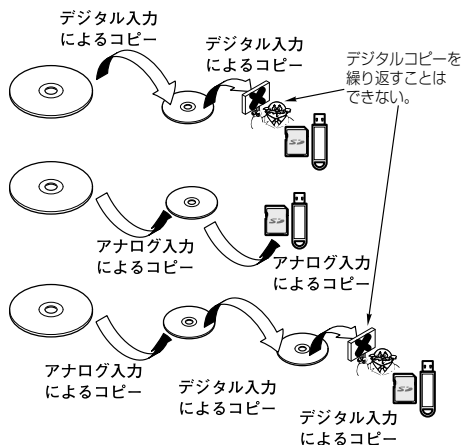
- CDから録音したとき：
"001_"/"002_"……（曲順）+"CD番号"+"________________"
- D.AUDIOから録音したとき：
録音した"年"（2文字）+"月"（2文字）+"日"（2文字）+"時"（2文字）+"分"（2文字）+"D01"/"D02"……（年月日時分の10文字が同じ時にファイル番号が変わります）+"________________"
- ラジオ放送を録音したとき：
録音した"年"（2文字）+"月"（2文字）+"日"（2文字）+"時"（2文字）+"分"（2文字）+"F01"/"A01"/"F02"/"A02"……（"F": FM/"A": AM、年月日時分の10文字が同じ時にファイル番号が変わります）+"________________"
- タイマー録音したとき：
録音した"年"（2文字）+"月"（2文字）+"日"（2文字）+"時"（2文字）+"分"（2文字）+"F01"/"A01"/"D01"（"F": FM/"A": AM/"D": D.AUDIO）+"________________"

■フォルダー名、ファイル名の変更

- フォルダー名、ファイル名の"________________"部分は、録音後にタイトル入力することができます。（32ページ）

メンテナンス

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 再生面にふれないように持ってください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

本機で使用できるディスクについて

- CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

- レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

CDの保管について

- 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDが汚れたときは

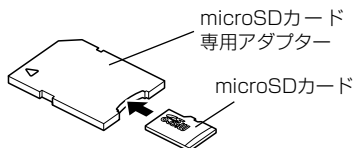
- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

知っておいていただきたいこと

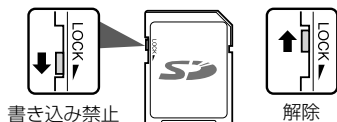
SDカードの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず SD カードに付属の取扱説明書をご覧ください。

mini SD、micro SDカードについて

- 市販の専用アダプターに取り付けてから使用します。挿入方向はSDカードと同じです

SDカード（書き込み禁止スイッチ）

SDカードには、データの書き込みを禁止するスイッチがあります。大切なデータを保護するときは「LOCK」にします。新たに録音するときは解除してください。

SDカードを破棄/譲渡するときのお願い

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にUSB機器は付属していません。
- 本体前面部の[USB]端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「1A」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

iPod/iPhoneの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPod/iPhoneに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用できるiPod/iPhoneについて

- 本機に接続できるiPod/iPhoneは以下の通りです。

（2011年12月現在）

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

D.AUDIOの取り扱い

取り扱い上のお願い

必ずケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用できるD.AUDIOについて

- 本機またはリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをコントロールするには、別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）が必要です。

接続可能ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー	
HDD オーディオ プレーヤー	メモリーオーディオ プレーヤー / レコーダー
HD60GD9/ HD20GA7/ HD30GA9/ HD30GB9	MGR-E8/MGR-A7/ MG-G708/MG-G608/ MG-G508/MG-F516/ MG-F508/MG-F504/ MG-E502/MG-E504/ M2GD55/M2GD50/ M1GD55/M1GD50/ M1GB5/M512B5/ M1GC7/M2GC7/ M512C5

2011年9月現在

免責事項について

- ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー /SDカード/USB機器/iPod/iPhoneの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

❶USB機器などの外部機器を取り外し、ディスクを取り出します。

❷[CD ►/II]を押して音源を"CD"にし、"No Disc"がディスプレイに表示されるのを確認します。

❸数秒間待ち、電源をOFFにします。

❹その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- 音源切り替え
- 音量の設定
- チューナー設定
- Toneの設定
- Timer Setの設定内容
- 省エネ設定
- ディスプレイの照明、表示濃度設定設定

- 操作してすぐに電源プラグを抜いた場合、最後に変更した設定がバックアップされないことがあります。

知っておいていただきたいこと

放送局リスト

・放送局名は変更されることがあります。

北海道（ﾎｯｶｲﾄﾞｳ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1		80.4 MHz	AIR-G'	エフエム北海道
2	FM	82.5 MHz	NORTH WAVE	エフエム・ノースウェーブ
3		85.2 MHz	NHK-FM	NHK
4		567 kHz	NHK-AM1	NHK
5	AM	747 kHz	NHK-AM2	NHK
6		1287 kHz	HBCﾗｼﾞｵ	北海道放送
7		1440 kHz	STVﾗｼﾞｵ	STVラジオ

東北（ﾄｳﾎｸ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1		76.1 MHz	FM IWATE	エフエム岩手
2		77.1 MHz	Date fm	エフエム仙台
3		80.0 MHz	FMｱｵﾓﾘ	エフエム青森
4	FM	80.4 MHz	ﾘｽﾞﾑ･ｽﾃｰｼｮﾝ	エフエム山形
5		81.8 MHz	ﾌｸｼﾏFM	エフエム福島
6		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
7		82.8 MHz	FMｱｷﾀ	エフエム秋田
8		684 kHz	ｲﾜﾃﾎｳｿｳ	IBC岩手放送
9		891 kHz	NHK-AM1	NHK
10		918 kHz	ﾔﾏｶﾞﾀﾎｳｿｳ	山形放送
11	AM	936 kHz	ｱｷﾀﾎｳｿｳ	秋田放送
12		1089 kHz	NHK-AM2	NHK
13		1233 kHz	ｱｵﾓﾘﾎｳｿｳ	青森放送
14		1260 kHz	ﾄｳﾎｸﾎｳｿｳ	東北放送
15		1458 kHz	ﾗｼﾞｵ ﾌｸｼﾏ	ラジオ福島

関東（ｶﾝﾄｳ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1		76.1 MHz	InterFM	エフエムインターウェーブ
2		76.4 MHz	RADIO BERRY	エフエム栃木
3		78.0 MHz	bayfm	ベイエフエム
4		78.8 MHz	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ	放送大学
5	FM	79.5 MHz	NACK5	エフエムナックファイブ
6		80.0 MHz	TOKYO FM	エフエム東京
7		81.3 MHz	J-WAVE	J-WAVE
8		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
9		84.7 MHz	Fm Yokohama	横浜エフエム放送
10		86.3 MHz	FM GUNMA	エフエム群馬
11		594 kHz	NHK-AM1	NHK
12		693 kHz	NHK-AM2	NHK
13		954 kHz	TBSﾗｼﾞｵ	TBSラジオ＆コミュニケーションズ
14		1134 kHz	ﾌﾞﾝｶﾎｳｿｳ	文化放送
15	AM	1197 kHz	ｲﾊﾞﾗｷﾎｳｿｳ	茨城放送
16		1242 kHz	ﾆｯﾎﾟﾝﾎｳｿｳ	ニッポン放送
17		1422 kHz	ﾗｼﾞｵﾆｯﾎﾟﾝ	アール・エフ・ラジオ日本
18		1530 kHz	ﾄﾁｷﾞﾎｳｿｳ	栃木放送

中部（ﾁｭｳﾌﾞ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	FMFUKUI	福井エフエム放送
2		77.5 MHz	FM-NIIGATA	エフエムラジオ新潟
3		77.8 MHz	ZIP-FM	ZIP-FM
4		78.4 MHz	K-MIX	静岡エフエム放送
5		79.0 MHz	FM PORT	新潟県民エフエム放送
6		79.7 MHz	FM NAGANO	長野エフエム放送
7		80.0 MHz	Radio 80	岐阜エフエム
8		80.1 MHz	KNBﾗｼﾞｵ	北日本放送
9		80.5 MHz	FM ISHIKAWA	エフエム石川
10		80.7 MHz	FM AICHI	エフエム愛知
11		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
12		82.7 MHz	FMﾄﾔﾏ	富山エフエム放送
13		83.0 MHz	FM-FUJI	エフエム富士
14	AM	729 kHz	NHK-AM1	NHK
15		738 kHz	KNBﾗｼﾞｵ	北日本放送
16		765 kHz	ﾔﾏﾅｼﾎｳｿｳ	山梨放送
17		864 kHz	FBCﾗｼﾞｵ	福井放送
18		909 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1053 kHz	CBCﾗｼﾞｵ	中部日本放送
20		1098 kHz	ｼﾝｴﾂﾎｳｿｳ	信越放送
21		1107 kHz	ﾎｸﾘｸﾎｳｿｳ	北陸放送
22		1116 kHz	ﾆｲｶﾞﾀﾎｳｿｳ	新潟放送
23		1332 kHz	ﾄｳｶｲﾗｼﾞｵ	東海ラジオ放送
24		1404 kHz	SBSﾗｼﾞｵ	静岡放送
25		1431 kHz	ｷﾞﾌﾎｳｿｳ	岐阜放送

近畿（ｷﾝｷ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.5 MHz	FM CO·CO·LO	関西インターメディア
2		77.0 MHz	e-radio	エフエム滋賀
3		78.9 MHz	Radio3 FMﾐｴ	三重エフエム放送
4		80.2 MHz	FM802	FM802
5		85.1 MHz	fm osaka	エフエム大阪
6		88.1 MHz	NHK-FM	NHK
7		89.4 MHz	FMｷｮｳﾄ	エフエム京都
8		89.9 MHz	Kiss-FM	兵庫エフエム放送
9	AM	558 kHz	ﾗｼﾞｵ ｶﾝｻｲ	ラジオ関西
10		666 kHz	NHK-AM1	NHK
11		828 kHz	NHK-AM2	NHK
12		1008 kHz	ABCﾗｼﾞｵ	朝日放送
13		1143 kHz	KBS ｷｮｳﾄ	京都放送
14		1179 kHz	ﾏｲﾆﾁﾎｳｿｳ	毎日放送
15		1314 kHz	ﾗｼﾞｵ ｵｵｻｶ	大阪放送
16		1431 kHz	ﾜｶﾔﾏﾎｳｿｳ	和歌山放送

中国・四国（ﾁｭｳｺﾞｸ･ｼｺｸ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.8 MHz	FMｵｶﾔﾏ	岡山エフエム放送
2		77.4 MHz	fm-sanin	エフエム山陰
3		78.2 MHz	ﾋﾛｼﾏFM	広島エフエム放送
4		78.6 MHz	FMｶｶﾞﾜ	エフエム香川
5		79.2 MHz	FMﾔﾏｸﾞﾁ	エフエム山口
6		79.7 MHz	FMｴﾋﾒ	エフエム愛媛
7		80.7 MHz	FMﾄｸｼﾏ	エフエム徳島
8		81.6 MHz	FM KOCHI	エフエム高知
9		88.3 MHz	NHK-FM	NHK
10	AM	702 kHz	NHK-AM2	NHK
11		765 kHz	ﾔﾏｸﾞﾁﾎｳｿｳ	山口放送
12		900 kHz	ｺｳﾁﾎｳｿｳ	高知放送
13		900 kHz	BSSﾗｼﾞｵ	山陰放送
14		1071 kHz	NHK-AM1	NHK
15		1116 kHz	ﾅﾝｶｲﾎｳｿｳ	南海放送
16		1269 kHz	ｼｺｸﾎｳｿｳ	四国放送
17		1350 kHz	RCCﾗｼﾞｵ	中国放送
18		1449 kHz	ﾆｼﾆﾎﾝﾎｳｿｳ	西日本放送
19		1494 kHz	RSKﾗｼﾞｵ	山陽放送

九州・沖縄（ｷｭｳｼｭｳ･ｵｷﾅﾜ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	Love FM	ラブエフエム国際放送
2		77.4 MHz	FMK	エフエム熊本
3		77.9 MHz	FMｻｶﾞ	エフエム佐賀
4		78.7 MHz	cross fm	CROSS FM
5		79.5 MHz	fmnagasaki	エフエム長崎
6		79.8 MHz	ﾐｭ-FM	エフエム鹿児島
7		80.7 MHz	FM FUKUOKA	エフエム福岡
8		83.2 MHz	JOY FM	エフエム宮崎
9		84.8 MHz	NHK-FM	NHK
10		85.2 MHz	NHKﾗｼﾞｵ1	NHK第一
11		87.3 MHz	FM Okinawa	エフエム沖縄
12		88.0 MHz	FM OITA	エフエム大分
13		89.1 MHz	AFNｵｷﾅﾜ	AFN沖縄
14	AM	612 kHz	NHK-AM1	NHK
15		738 kHz	ﾘｭｳｷｭｳﾎｳｿｳ	琉球放送
16		864 kHz	ﾗｼﾞｵ ｵｷﾅﾜ	ラジオ沖縄
17		936 kHz	ﾐﾔｻﾞｷﾎｳｿｳ	宮崎放送
18		1017 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1098 kHz	ｵｵｲﾀﾎｳｿｳ	大分放送
20		1107 kHz	ﾐﾅﾐﾆﾎﾝﾎｳｿｳ	南日本放送
21		1197 kHz	ｸﾏﾓﾄﾎｳｿｳ	熊本放送
22		1233 kHz	ﾅｶﾞｻｷﾎｳｿｳ	長崎放送
23		1278 kHz	RKBﾏｲﾆﾁﾎｳｿｳ	RKB毎日放送株式会社
24		1413 kHz	ｷｭｳｼｭｳ ｱｻﾋ	九州朝日放送
25		1458 kHz	NBCﾗｼﾞｵ ｻｶﾞ	NBCラジオ佐賀

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

リモコン

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	・新しい電池に交換する。 ・操作範囲内で操作する。	15

アンプ・スピーカー

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	・コードを正しく接続しなおす。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。 ・ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	9 ～ 11 16 16 11
ヘッドホンから音が出ない	・ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。	11 16 16
電源が OFF する	・省エネモード（A.P.S.）が ON に設定されている。 省エネモード（A.P.S.）を OFF にする。	36
時刻が表示されない	・時計を設定する。	37
タイマーが作動しない	・時計を設定する。 ・プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	37 38

チューナー

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	・アンテナを接続する。 ・受信バンド（受信モード）を合わせる。 ・受信したい放送局の周波数に合わせる。	9 25 25
雑音が入る	・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 ・テレビから離す。	—
プリセットコールができない	・もう一度、自動で放送局をメモリーさせる。 ・受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	26 27

メンテナンス

故障かな？と思ったら

CD

症　状	処　置	参照ページ
CD を入れても再生できない	・レーベル面を上にして、正しく入れる。 ・ディスクの汚れをふきとる。 ・ディスク表面に付いた露を蒸発させる。	17 45
音声が出ない	・[CD ►/❚❚] を押す。 ・ディスクの汚れをふきとる。	18 45
音とびがする	・オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 ・本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	42
再生できないオーディオファイルがある	・オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 ・本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	42
再生するまでに時間がかかる	・フォルダー数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	—
タグ情報が正しく表示されない	・本機で表示できるタグ情報を確認する。	42

SD

症　状	処　置	参照ページ
SD カードを入れても音が出ない	・SD カードを正しく差し込む。 ・曲ファイルが入っている SD カードを入れる。	17
再生できないオーディオファイルがある	・オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 ・本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	42
録音が途中で止まる	・SD カードに録音可能な空き容量がない。不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用の SD カードを入れ替える。	32
録音または編集ができない	・書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能な SD カードに取り替える。	46
SD カード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	・SD カードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。	—
タグ情報が正しく表示されない	・本機で表示できるタグ情報を確認する。	42

USB/iPod/iPhone

症　状	処　置	参照ページ
USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	• USB フラッシュメモリーを正しく差し込む。 • USB ケーブルを正しく接続する。 • USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	10
再生できないオーディオファイルがある	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	42
録音が途中で止まる	• USB 機器に録音可能な空き容量がない。不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用の USB 機器を入れ替える。	32
USB 機器内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	• USB 機器のデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。	—
タグ情報が正しく表示されない	• 本機で表示できるタグ情報を確認する。	42
iPod/iPhone がリモコン / 本体で操作できない	• 対応モデルかどうか確認する。	46

D.AUDIO

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン / 本体で操作できない	• ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーは、専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。 • 対応モデルかどうか確認する。	11 47

本機をリセットするには

症　状	ここをご確認ください・処置
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。 ❷ 本体の [⏻] **電源**を押しながら、電源プラグを差し込みなおします。 "**Initialize**" と表示されます。 本機がリセットされます。

メンテナンス

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味 / 処　置
Can't Edit	本機で録音したファイルではないので、タイトル入力できない。
Can't Play	ファイルが再生できない。→ 再生できるオーディオファイルを確認する。
Can't Read*	ファイルが読み込めない。
Can't Rec	録音できない音源から録音しようとしている。
Check Disc	ディスクが汚れている。→「CDの取り扱い」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。(45ページ) ディスクが正しく入っていない。→ ディスクを入れ直す。 ディスクの形式が対応していない。→「ディスクに書き込むときのご注意」を参照し、ディスクを作成する。(41 ページ)
Connect Error*	iPod/iPhone の認証ができない。
File No. Limit	USB 機器 /SD カードのファイル数が 3000 に達している。→ 不要なファイルを削除する。
Folder No. Limit	USB 機器 /SD カードのフォルダー数が 300 に達している。→ パソコンを使って不要なフォルダーを削除する。
Lid Open	CD ドアが開いている。→ CD ドアを閉める。
Memory Full	SD カードまたは USB 機器に録音可能な空き容量が無い。→ 不要なファイルを削除する。SD カードまたは USB 機器を交換する。
No Disc	ディスクが入っていない。→ ディスクを入れる。
No File	再生できるファイルが無い。→ 再生できるオーディオファイルを確認する。
No SD*	SD カードが挿入されていない。SD カードが検出できない。
No USB*	USB 機器が接続されていない。USB 機器が接続できない。
Not Support*	USB 機器が接続できない。または SD カードが検出できない。
Random Mode	ランダム再生中にワンタッチ録音をしようとしている。→ ランダム再生を解除する。
SCMS	SCMS によりデジタル録音禁止の音源をデジタル録音しようとしている。→ アナログ録音する。
Sleep	スリープタイマー中に録音しようとしている。→ スリープタイマーを解除する。
Write Protected	USB 機器または SD カードが書き込み保護されている。→ 保護を解除する。

* Can't Read/Connect Error/No SD/No USB/Not Supportのメッセージが表示されたときは、電源をOFFにしてUSB機器/iPod/iPhoneを接続しなおす、またはSDカードを入れなおしてから電源をONしてください。

用語集

用　語	意　味
AAC	正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
CD-DA	CD のこと。CD-DA ディスクは一般的に「CD」と呼ばれています。
MP3	独 Fraunhofer IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、CD 並みの音質を保ったまま約 1/11（128kbps）に圧縮することができます。
PCM	正式名「Pulse Code Modulation」の略称です。音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つ。CD(CD-DA) は PCM 方式を利用しており、サンプリング周波数は 44.1kHz です。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
タグ (TAG) 情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、オーディオファイルに書き込まれている情報です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社サービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターへお申しつけください。

2012年8月現在

北海道				
札幌サービスセンター	〒 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7175-4322
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
八王子サービスセンター	〒 192-8525	八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒 950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎ (025) 245-2177
東京サービスセンター	〒 135-0023	江東区平野3-2-6　木場パークビル1F	
（修理持込専用窓口）	電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。		
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-4821
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055
中国			
広島サービスセンター	〒 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

(0712)

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950　　FAX 045-450-2308
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
　　　　　土曜　　　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

メンテナンス

定格

[アンプ部]

実用最大出力………… 10 W + 10 W（JEITA 4 Ω）
入力端子（感度／インピーダンス）
D.AUDIO入力 ……………………350 mV/10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AMチューナー部
受信周波数範囲………… 531 kHz ～ 1,602 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式
………… 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ……………………………1 ビット
オーバーサンプリング…………… 8 fs (352.8 kHz)

[USB部]

対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
供給電流…………………………………………最大 1 A
iPod/iPhone接続方式 ……………………… デジタル

[SD部]

対応SDカード
…………SD/SDHC、miniSD、microSD/SDHCカード
mini SD/micro SDは専用アダプタが必要です。
マルチメディアカードMMCは使用できません。
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32

[スピーカー部]

エンクロージャー………………………… バスレフ方式
スピーカー…………………………… 64 mm コーン型

[電源部・その他]

電源電圧、電源周波数… AC100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力……………………………………… 20 W
待機時消費電力……………………………… 0.5 W以下
最大外形寸法……………………………… 幅 370 mm
高さ 115 mm
奥行 210 mm (CLX-30)/200 mm (CLX-35)
質量（重量）……………………………… 2.6 kg(正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
　　　　　土曜日　　　　　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
　　　　　※日曜、祝日及び当社休日を除く

フリーダイヤル **0120-2727-87**

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8950**
- FAX　**045-450-2308**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www2.jvckenwood.com/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12